

## Floppy's Phonics Stage 4 'Seasick'

p.1

おばあちゃんは海のそばに小さな部屋を持っていました。

p.2

「ここが私のビーチハウスよ」とおばあちゃんと言いました。

p.3

「サンディ・フィートという名前なの」おばあちゃんが言いました。

p.4

みんなはそこでピクニックをしました。

「さあ、食べよう」

p.5

席は6つありました。

「イスはちょうどひとりにひとつずつだね！」

p.6

「ほら、チーズサンドよ」おばあちゃんが言いました。

「それにクリームをのせたゼリーも」

p.7

「ステキなピクニック」ビフが言いました。

「すごいごちそう」

「こんなにたくさんある！」

p.8

栈橋のところにはおばあちゃんのボートがありました。

p.9

「このボートの名前はジョリー・ジーンよ」おばあちゃんが言いました。

「さあ、乗って」

p.10-11

ジョリー・ジーンは最高でした。

「アザラシが見えるよ」チップが言いました。

「ずいぶんたくさんいるね」

p.12-13

でも海がだんだん荒れてきました。

ボートは上に行ったり下に行ったりしてゆれています。

「おなかが痛い」ウィルマが言いました。

「気持ち悪い」

p.14

「ごめんなさいね」おばあちゃんが言いました。「クリームゼリーのゼリーが多すぎた  
ようね」

p.15

みんなはビーチハウスに戻りました。

p.16

「トーストにバイクド・ビーンズはいかが？」とおばあちゃんが言いました。

「おばあちゃん、もういいよ」